

2018年度

事業計画書

自 2018年4月 1日

至 2019年3月 31日

一般社団法人 日本建築あと施工アンカー協会

I. 基本方針

2017年度の建設投資は、対前年比1.8%増の53兆4,000億円、2018年度は、ほぼ横ばいの53兆3,900億円と見込まれ、2020年の東京オリンピックへ向けての投資は今後も継続、建設市場は引き続き拡大するものと予想されます。

一方、あと施工アンカー市場は、厳しい環境にあり、低迷傾向が継続しているものの、民間非住宅建設投資は若干増加しており、事務所、店舗、工場、倉庫などの建設投資が堅調で、2018年度は国交省の建築基準法整備促進事業の内「S20 あと施工アンカーを用いた部材の構造性能確認方法に関する検討」の3年事業の終了年度であることから、建築基準法上の適用範囲拡大が期待されます。

また、土木分野においては、笹子トンネル事故の影響で接着系アンカーの使用を控える傾向が散見されるものの、あと施工アンカーに対するシーズ、ニーズは高まるばかりです。

2017年度に策定した中期事業計画では、「建設業界（建築・土木・設備）において、製品品質と施工技術であと施工アンカーの信頼性を高める」ことの方針に変わりはなく、協会外部の諸関係団体や関係者から「あと施工アンカーは、JCAAに聞け」と言って頂けるようにすべく、「あと施工アンカーの信頼を支えるシステムの構築と実行」を継続していくと共に、「技術の蓄積」にも注力していくことを確認しました。

今年度は、中期事業計画に基づく初年度であり、以下の項目に重点的に取り組むこととします。

- 1) あと施工アンカーの品質向上に向けて
 - (1) あと施工アンカー施工指針（案）（接着系／注入方式／カートリッジ型）の発行
 - (2) あと施工アンカー点検要領（案）の作成
 - (3) 評定事業の立ち上げ検討（評定委員会設置、技術センター評定機関化等）
- 2) 施工資格者の拡充・養成に向けて
 - (1) あと施工アンカー関連資格保有者の拡大（受講者・受験者の拡大）
 - (2) 注入式あと施工アンカー施工士資格の創設
 - (3) あと施工アンカー点検士／診断士資格の創設
 - (4) JCAAの認知度向上（展示会出展、関係諸団体へのアピール等）
- 3) あと施工アンカーの信頼性向上に向けて
 - (1) 土木懇談会の開催
 - (2) 広報活動の充実

II. 実施事業

1. 調査研究事業

1.1 あと施工アンカー施工指針（案）（接着系／注入方式／カートリッジ型）の発行

- 1) 担当部会：施工部会、技術部会
- 2) 実施事項

注入方式あと施工アンカー施工指針（案）については、建築学会における査読が終了次第、発刊の予定である。併せて、基整促 S20 で要求されているメーカーが開催する注入方式講習会の基本構成を明示し、協会会員メーカーにおける講習会の内容の統一性を確保するよう努める。

1.2 あと施工アンカー点検・診断要領（案）の作成

- 1) 担当部会：施工部会、技術部会
- 2) 実施事項

技術委員会傘下の点検方法作成ワーキングにて作成中の「あと施工アンカー点検・診断要領（案）」の早期完成と発刊を目指すとともに、国立研究開発法人物質・材料研究機構特別研究員の篠原氏に委員会に参画して戴き、腐食・防食に関する知見と技術の拡充を図る。

1.3 あと施工アンカー標準試験法・同解説の改訂

- 1) 担当部会：製造部会・技術部会
- 2) 実施事項

昨年度技術委員会に設置されたあと施工アンカー標準試験法・同解説の改訂WGを継続し、更なる充実を図る。

1.4 評定事業の立ち上げ検討（評定委員会設置、技術センター試験所認定取得等）

- 1) 担当部会：技術部会
- 2) 実施事項

第三者性を持ったあと施工アンカーの単体評価を当協会の事業として展開するべく、評定委員会の設置および ISO17025（試験所認定）取得による技術センターの公的試験機関化の可能性の検討を進める。

1.5 土木懇談会の開催

- 1) 担当部会：各部会長
- 2) 実施事項

昨年の定款改訂により、対象領域を建築だけでなく、土木、設備等の分野にも広げたことを受け、土木分野の学識経験者との懇談会を開催し、当協会の土木分野における取り組みを推進する。

1.6 生産動態調査

- 1) 担当部会：製造部会
- 2) 実施事項

例年実施している生産動態調査を継続するとともに、調査内容の充実を図る。

2. 技術者養成事業

2.1 あと施工アンカー関連資格事業の運営

1) 担当部会：資格認定事業実行部会

全国実行部会長会議	2回
実行部会 WG	3回
試験員研修	適時

2) 実施事項

(1) 一般技術講習

講習種別	実施日	実施場所
初級	6月16日～7月21日	8支部1地区(14会場)
上級A	6月16日～7月21日	8支部1地区(13会場)
上級B	6月30日～7月8日	2支部(2会場)

※ 1地区は沖縄

(2) 資格試験(筆記)

試験種別	実施日	実施場所
第2種施工士	9月9日	8支部1地区(14会場)
第1種施工士	9月2日	8支部1地区(12会場)
技術管理士	9月2日	8支部1地区(10会場)

※ 1地区は沖縄

(3) 資格試験(実技)

試験種別	実施日	実施場所
特2種施工士	4月14日～5月20日、 6月17日、 10月20日～12月9日	5支部(5会場) 1支部(1会場) 8支部(10会場)
第1種施工士(春)	4月14日～5月19日	5支部(5会場)
第1種施工士(秋)	10月20日～12月9日	8支部(10会場)

(4) 更新講習

講習種別	実施日	実施場所
更新A	2019年2月23日～3月17日	8支部(11会場)
更新B	2019年2月24日～3月17日	8支部(11会場)

2.2 新資格制度の創設

1) 担当部会：施工部会

2) 実施事項

あと施工アンカー施工指針（案）（接着系／注入方式／カートリッジ型）に基づき、注入式アンカーの施工資格を創設し再来年度からの実施を目指す。

また、あと施工アンカー点検要領（案）に基づき、点検士／診断士資格の創設も目指す。

2.3 優良施工／検査会社表彰制度の創設

1) 担当部会：施工部会

2) 実施事項

審査基準、審査手続きを制定し、審査体制を確立のうえで今年度からの実施を目指す。

2.4 受験者・受講者拡大

1) 担当部会：広報部会・業務部会

2) 実施事項

建設関係企業・団体および行政機関に対し、協会の資格を周知することにより、受講者・受験者の拡大を目指す。

3. 製品認証事業

1) 担当部会：製品認証事業実行部会

2) 実施事項

製造部会と連携し、必要に応じた認証基準の見直しと申請者との調整を行う会議開催により、認証取得の支援と認証製品シェアの向上を通じて、製品の安定した品質確保と認証製品普及に継続して取り組む。

4. 広報事業

1) 担当部会：広報部会

2) 実施事項

(1) 協会機関誌の発行（4月および10月発行予定）

(2) ホームページのリニューアル(総合サイトの構築)

講習・試験申込みのWEB申込み、情報資産の閲覧窓口として、また会員の皆様へのタイムリーな情報提供のための総合サイトとしてご活用いただけるようホームページを一新し、分かり易く使い勝手の良いサイトに改訂する。

(3) 協会認知度向上

展示会出展、講演会開催、関係諸団体・法人へのアピール等によりJCAAとその主要事業（製品認証事業、資格認定事業、調査研究事業）の認知度向上に向けた取り組みを継続する。

5. その他の事業

5.1 技術資産のデータベース化

1) 担当部会：業務部会

2) 実施事項

あと施工アンカーに関する論文データベースの構築など、JCAA ホームページへのアクセスにてあと施工アンカーに関するあらゆる技術の閲覧、情報収集ができるようにする。

5.2 技術センターの稼働率向上

1) 担当部会：業務部会

2) 実施事項

試験・共同研究の協力、施設貸出等により技術センターの稼働率向上を目指す。

5.3 事務局業務の効率化

1) 担当部会：業務部会

2) 実施事項

ISO を参考に、事務局業務の品質管理の展開、手順書の整備等を推進する。

6 他団体との連携

1) 既存建築物耐震診断・改修等全国ネットワーク委員会

定時開催の既存建築物耐震診断・改修等全国ネットワーク委員会への対応を行う。

2) 一般社団法人公共建築協会

国土交通省大臣官房官庁営繕部から委託を受けて、公共建築工事標準仕様書、建築工事監理指針などの書籍の発行を行っている（一社）公共建築協会への協力を行う。

3) 一般財団法人建築保全センター

国土交通省大臣官房官庁営繕部から委託を受けて、公共建築改修工事標準仕様書、建築改修工事監理指針、建築保全、点検・診断関係などの書籍の発行を行っている（一財）建築保全センターへの協力を行う。

4) 公益社団法人日本コンクリート工学会

同会主催のコンクリートテクノプラザ 2018 年は神戸で開催され、近畿支部と広報部会、技術部会の協力を得て出展の対応を行う。

5) 一般社団法人日本非破壊検査工業会

技術者養成事業 2.2 の新資格（点検士／診断士）創設に対応し、同工業会との協力関係を維持・推進する。

- 6) 国立研究開発法人物質・材料研究機構
調査研究事業 1.2 のあと施工アンカー点検・診断要領（案）の作成に向け同研究機構との協力関係を維持・推進する。
- 7) 公益社団法人腐食防食学会
アンカーボルトの腐食、電飾と材質に関する知見の蓄積を進める。
- 8) 土木学会
土木懇談会での議論も踏まえ、2014年3月31日に発行されたコンクリートライブラリー141「コンクリートのあと施工アンカー工法的设计・施工指針(案)」の改訂に向け協議する。

以上